

電波時計 取扱説明書 (掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
<https://www.rhythm.co.jp>

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
<https://rhythm.jp/support/>

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。

例: 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y2507)

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様

ご住所

TEL() -

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小キズや汚れなど)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

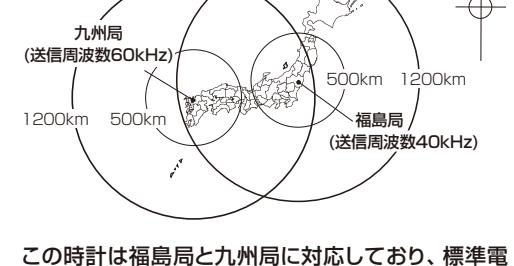
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<https://jjy.nict.go.jp>)

※アドレスは変更になる場合があります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能ですが、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

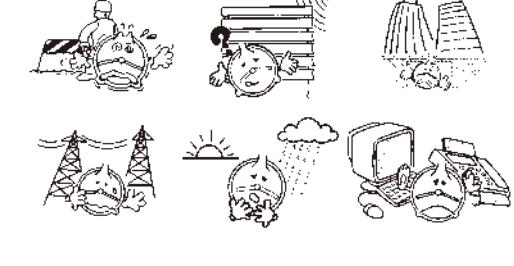


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブライドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



おもな製品仕様

使用温度範囲 -10 ~ 50°C *結露しないこと

時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度

標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(温度が5~35°Cのときのクオーツ精度)

推奨電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 4個

電池寿命 約5年 (標準電波の受信に成功して、暗所秒針停止時間が7時間/日のとき)

電池の交換時期 常時秒針が12時位置に停止

お知らせ機能 暗所秒針停止 明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止

標準電波 標準電波受信による時刻修正

受信局 福島局/九州局 自動選択

受信回数 最少1回/日 最多6回/日 *受信状態により変化

受信ON/OFF ボタン操作

受信開始時刻 2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の15分59秒

*2時15分59秒は必ず受信を行います。

手動時刻合わせ ボタン操作

防滴防塵機能 なし

風防仕様 飛散防止処理ガラス

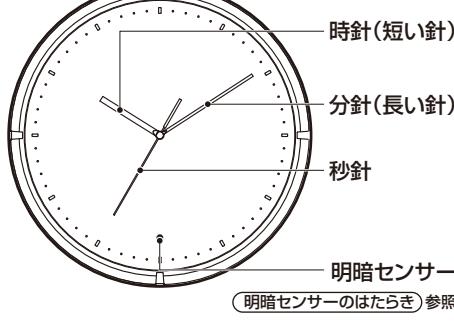
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

(正面)



△ 注意

電池の $\oplus\ominus$ を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

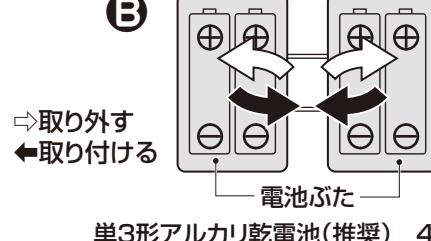
電池の入れかた

電池ぶたを取り外し、電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて、4個の電池を入れ、電池ぶたを取り付けてください。



単3形アルカリ乾電池(推奨) 4個

2つの電池ぶたを取り外し、電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて、それぞれ2個ずつ電池を入れ、電池ぶたを取り付けてください。



単3形アルカリ乾電池(推奨) 4個

①強制受信 電池を入れた直後に押します。

受信機能をONにして、受信を開始します。

②受信確認 受信結果を確認するときに押します。結果は受信確認ランプの点灯、点滅でお知らせします。

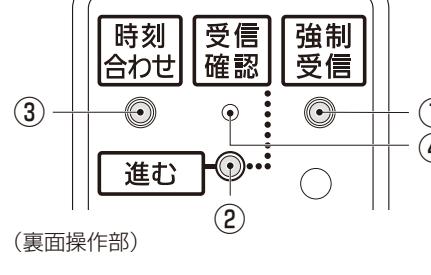
進む 手動時刻合わせ状態のとき

に、押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

③時刻合わせ 約2秒間押し続けると手動時刻合わせの状態になります。時刻を合わせ終わったときに押すと、通常の時刻表示になります。

④受信確認ランプ 受信結果を点灯、点滅でお知らせします。

ランプ正面から見てください。斜めからは見づらいです。



(裏面操作部)

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信を押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせてご使用ください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

手動での時刻合わせ 受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

操作 *通常の針の動きのときに操作してください。

①時刻合わせを2秒間押し続ける

手動時刻合わせ状態になると、分針が1~2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。この状態になってから時刻を合わせます。

*秒針が動いている間でも、進むを押して時刻を合わせることはできますが、秒針が動いている間は、手動時刻合わせを終了することができません。

②進むを押して時刻を合わせる

進むを押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

③時刻合わせを押して時刻合わせを終わる

針が動き出します。

○手動時刻合わせ状態で4分間ボタン操作をしないと、通常の時刻表示に戻ります。

○強制受信を押すと、手動時刻合わせを終了して受信を開始します。

*電波受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFFの切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

*時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになっ

てから操作してください。

操作

時刻合わせと進むの2つのボタンを同時に5秒間押し続けると電波受信機能のONとOFFが切替わります。

ONのときに押すとOFFに、OFFのときに押すとONになります。

電波受信機能が切り替わると、受信確認ランプの点滅の回数でお知らせします。

ON状態になったとき : 5回

OFF状態になったとき : 2回

OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。

*電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押した場合もONに切り替わります。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。

昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

*明るい所でも常時停止するときは、「電池の交換時期お知らせ機能」を参照してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることができますので、定期的に汚れを落としてください。

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を4個ご用意ください。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用してしないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電池ホルダーの $\oplus\ominus$ 表示に合わせて電池を入れる

② 強制受信を押す

針は12時に移動して、受信が終わるまで停止します。

*電池を入れた後は必ず強制受信を押してください。

*早送りの途中で針が一時停止することがあります。

*受信中はボタン操作をしないでください。

③ 時計の掛けかたに従い、時計を確実に掛ける

④ 16分待ってから受信確認を押して受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。

受信確認を押してすぐに離すと、受信確認ランプで受信結果をお知らせします。

5秒間点灯 : 受信成功 (正しい時刻)

5回点滅 : 受信失敗 (不正確な時刻) → (標準電波を受信できない場合)へ

(2回点滅 : 受信機能がOFF) * (電波受信機能のON/OFF切り替え操作)参照

消灯したまま : 受信状態

*受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押してください。

*受信確認を押すと、25時間以内の受信結果を表示します。

時計の掛けかた

△ 注意 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

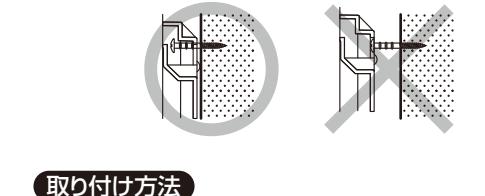
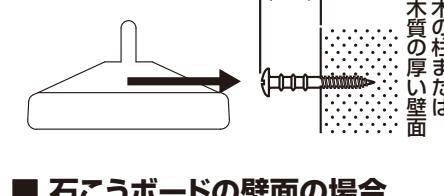
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

- 壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
- 付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

取り付け方法

取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。



取付金具 タイプB

取付金具の穴に對して、垂直に押し込む



その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換時期お知らせ機能 常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止します。明るい所で秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

*電池の交換時期をお知らせしてから1ヵ月程度は時針と分針は動き続けます。

*強制受信ボタンを押して受信しているときは、明るい所でも秒針が12時位置に停止します。

*電池残量が少ない状態で、使い続けると正常に機能しなくなります。

△ 注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

●電池の $\oplus\ominus$ を逆に入れない。

●時計が動いていても5年に1回定期的に交換する。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

*電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。



推奨される電池の条件

電池を長期間使用しますので次のことをお守りください。

① 電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上

例: 2023年3月に交換

03-2027より先の「使用推奨期限」表示のある電池

② 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの

③ 未使用の単3形アルカリ乾電池



使用推奨期限の表示例

月一年

電池の種類について

●本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。

(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

電池・製品の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。